

2/7

第一海軍校

所在地

横須賀市前郷

研究材料
研究材料
ノ用原及、

實驗研究項目

(1) 橋花及櫻花ノ
ノ原動機用材料ノ
研究

(2) 秋水原動機用
ノ燃料藥ノ航空用
スル材料ニ對

現狀大要

(1) 耐熱鋼
耐熱性良好（橋氏六〇〇度ニ於ケル耐熱性）
平万耗二〇（近）ニシテ「ニツケル」ヲ含マザ
ナル満俺、フルム、ヴァアナジウム鋼ヲ以テ優秀
ナル耐熱鋼イ三〇九ノ研究ヲ完成セリ更ニ
索ヲ含有セシメ性能向上ニツキ研究中
(2) 溶接棒
満俺クロム、タンクステン鋼ノ芯線ニ特殊被
覆ヲ施シタル溶接棒ヲ完成セリ
(3) 不安定ニシテ
ハモ約-50℃ニテ水結、60℃ニテ分解及腐蝕作用促
道セラル
(4) 之ニ耐ユル材料、一八一八ニツケルクロム
不銹鋼、一八クロム鋼、純アルミニウム、
シハミ、一八クロム、純アルミニウム、
銅及銅合金、マダネシウム合金、亜鉛、力
可下ミウム等ハ之ヲ分派シ腐蝕ヲ起シ實用不

(12) 加工木材	(11) 森林材	(10) 乙	(4) 鹽化ウイニル樹脂、有機硝子、炭素等ハ實用ニ支ナシ (5) 現用ゴム等ハ實用不可、ゴム、パラフィ、ン、タ、混入シ加硫炭低中耐甲液用ノモノハ使用ニ支ナシ
(11) 合板	(10) 甲	(1) 還元性強ク、徐々ニ性能低下シ、材料腐蝕シ鋼燭燭ヲ添加セルモノハ短時日ニテ經質シ實用困難トナル	(2) 之ニ耐ユル材料、一八一八不銹鋼、一八八ク、ロム鋼、一三ク、ロム鋼、各種アルミウム
(2) 歩留向上ニ關シ研究中	(1) 各地產木材ニツキ各種木製機部品ニ對スル利用區分檢討中	(6) 銅及銅合金、マクネシウム合金ハ實用不可 (4) 鹽化ウイニル、有機硝子ハ實用ニ支ナシ (5) ゴム、ベークライト、革、ヒシ、ブレン、人絹ハ實用困難	(11) 各種機油ト樹脂トノ組合セニヨリ乾燥潤滑用合板製造法確定 (12) 合層材

飛行機
製造
研究

(イ) 接着剤	(ロ) 材料	(ハ) 航空機用材料 ニ對スル防蝕 對策ノ研究
(イ) 硬化積層材 木材用長尺物ノ試作研究中、特ニ大豆蛋白ニ ヨル製造ヲ研究中 (1) 十二米桁ノ試作研究完了量産中 (2) 型押法ニヨル木製プロペラ製造完成	(1) 尿素系接着剤、常溫硬化石炭酸系接着剤、等 ノ合成樹脂研究完了 (2) 大豆蛋白、落花生蛋白、獸血蛋白等ノ接着剤 ヲ以テ合成樹脂ニ代替可能ナルヲ確認 (3) パルプ原料トスルビスニール系接着剤ヲ以 テ航空機用合板製造可能を確認 (1) ベンデル纖維素系、硝酸纖維素系ノ防濕性 (2) 硝酸纖維素系、硝布、接着性最もナリ	(ハ) 亞硫酸燃料 (1) 金屬材料 殆ド全部ヲ多少ナリトモ腐蝕スノ對策次 ノ如シ (2) 防蝕劑トシテ亜硫酸ソーダヲ燃料ニ添加 スルコト (3) アハミニウム合金鍍メハ硫酸電氣防蝕及 重クロム酸カトリック法ヲ施スコト

電學
ノ
研究

II

(1) 指動面ニハ銅及銅合金ヲ使用セザルコト
(2) マグネシウム合金ニ使用セザルコト
(3) 鋼材ハ可及的鍍金ヲ施スコト
(4) 非金屬材料
(5) ゴム、ベークライト、カネビアン、クロム革等ハ現用ノモノ實用可也
(6) 燃料タンク油密劑第四種バツキン劑ヘ
(7) シンプレン N O 一ハ熔解スルヲ以テア
(8) リル系油密劑ヘビシブレン N B、三七五
(9) 及ヒシブレン N B 二〇三一ヲ使用ノ要アリ
(10) 氣化器用浮子塗料（硝酸纖維素系）ハ實用不能ナルモ醋酸纖維素系ヲ減壓蒸餾セザルモノハ實用可也、但シ耐久性能充分ナラザルヲ以テ（氣泡ヲ生ズ）金屬浮子ニ改正ヲ要ス

(1) 松根油
(2) 金屬材料
(3) 治下懸影響ヲ及サズ
(4) 非金屬材料
(5) 接觸致質油
(6) ゴム、樹脂性ハ統驅揮發油ノ約三倍ニシテ
(7) ゴム、樹脂性ハ統驅揮發油ノ約三倍ニシテ
(8) ゴム、樹脂性ハ統驅揮發油ノ約三倍ニシテ
(9) ゴム、樹脂性ハ統驅揮發油ノ約三倍ニシテ
(10) ゴム、樹脂性ハ統驅揮發油ノ約三倍ニシテ

4

分解水添油

不足資源の
代替材料
研究

(イ) アルミニウム
不足対策

(ロ) 銅不足対策

(一) アルミニウム合金品位低下対策

(2) 高級銅合金の研究中

(3) アルミニウム合金の炭素鋼ニアル代替

(4) 眞鍮管の研究及各種純銅ノ試験ヲ行ヒ受

信眞鍮管ハ逐次代替セラレツツアリ

(ニ) ツケル節約量一〇〇%

(7) 純ニツケル節約量一〇〇%

(8) ツケル線ラ研究シ中

(9) メツツアリニツケル熱電對ヲ完成實用セシ

(5) シテ一部實用化シツツアリ

銑食、硬質シロム鍍金ヲモ合セ研究中ニ

尙之ガ研究ニハアルミニウム被覆、亜鉛

(一) 白金不足対策
(二) 雲母不足対策

(一) シドミウム不足対策
(二) 天然ゴム不足対策

比較的鐵、炭素量ノ高キ新高力デユラルミン
N D 合金ヲ完成量産中

(一) 氣筒冠用耐熱輕合金

ニ合金代用材トシテ無ニツケル、低銅ノ新合金ヲ完成量産移行中

白金鍍金法ヲ完成シ實用化促進中

(1) 眞鍮管用

ステアタイト陶磁器ヲ以テ一部代替實施中
更に耐熱微氣素地ノ利用法研究中

(2) 點火栓用

陶磁器ノ製法改良ニ裝着法ノ改修研究中更に
大型雲母ニ代ルベキ絶緣物研究中

(3) コンデンサー用

チタン磁器ノ性能向上改良ニ最優先化研究中

亜鉛鍍金及クロム酸溶液ニヨル後處理ヲ考案
シ又機殼製造法ノ普及ヲ計リツツアリ

(1) 防彈タンク用スポンヂゴム

フエルトヲ人造ラテワリス處理セルモノヲ
試作試験中

(2) タイヤ

一部再生ゴムのニテ置換實驗中

(3) 電線被覆ゴム

メラミン樹脂ニテ一部代替可能、一部實驗中

0473

飛行性能向上
研究ノ率並機

(4) 重油、草麻代 策用羽布不足對	(5) エヂプト綿及 ペルソ綿代用 タイヤコード	(6) 防彈鋼板ノ研 究	(7) 無磁性鋼索ノ 研究	(8) 中組鋼製プロ ペラノ試作研 究	(9) パッキンノ研 究	(10) 作動油ノ研究	(11) 高速落下傘ノ 研究
絹紡羽布ノ成績良好ナルコトヲ確認	強力人絹ヲ以テ實用可能ノ見込ヲ得タリ	珪素、清庵、クロム鋼ノ表面ニ飯厚ノ約一五% 炭ヲ施シ對彈抗力三〇%ヲ向上シ得タリ 更ニ無磁性防彈飯ニツキ研究中	磁性ノモノヲ得タリ量産移行中 ユツケル、クロム、マンガン鋼ニテ殆ド完全無	引拔鋼管ヲ素材トシプレス加工、溶接后熱處理 ヲ施シタルモノニテ實用可能ナルモノヲ完成シ	量産化檢討中 ゴム、シムク、ファイバ、革、石棉ノ各種ノ	モノニツキ規格化中 尚シルク、パッキン、コポリビニール、アルコ、 ムタアクリル、酸樹脂ヲ溶透セシメ成績良好	現用航理一號作動油ニ大豆白紋油又ハ桐油白 油一%ヲ添加セルモノハゴムノ膨油ヲ半減ス ヲ以テ實用化準備中 縮係ノモノニテ基礎及投下試驗結果良好

0474

- (b) 絶縁グリースノ研究
(c) 防食剤ノ研究
(d) 磁石發電機接點ノ研究
(e) 熱線探知機用熱線透過材料ノ研究
(f) 點火栓用接着劑ノ研究
(g) 電探用風房材料ノ研究
(h) カルボニル鐵ノ製造法ノ研究
(i) 硬質タロム鍍金ノ研究

ステアリン酸、亜鉛、タルク及二號外部礦油ヲ配合セルモノコロナ放電發生ヨリ絶縁性良好實用成績モ之ヲ實驗セリ
オレインアルコール、硫酸化エステルソールヲ主成分トセルモノハ性能良好實用中
タンゲステン接點ノ熱處理及形狀ノ改轉ニヨリ耐久力著シク向上セリ
硫酸ゴム實用中

金屬セメント完成

硬質氣泡ゴムハ短波透過九八%ニシテ極メテ優秀ニシテ實物試作實驗中

本純鐵ノ製造設備ヲ確立、量産移行中、電波兵器用部品ヲ試作實用化ヲ計リツツアリ

氣筒内面、油壓部品摺動面ニ對シ一部實施中

0476

航 空 機 關 保

艦上攻撃機並ニ 艦上爆撃機	艦上攻撃機並ニ 艦上爆撃機	偵察機
戦ヲ完了セリ、斜機銃裝備ノ彗星及彩雲ヲ内 戦トシテ完了セリ	大東亞戦争開始當初ハ九七艦攻並ニ九九艦爆 カ使用サレテ居タカ途中カラ艦攻トシテ天山 艦爆トシテ彗星カ前記ニ機種ニ代リ使用サレ 艦攻兼艦爆トシテ流星カ試作サレタカ戦場ナ 使用サレタノハ極ク最近デアアル	大東亞戦争ノ當初ハ九六艦攻カ使用サレテ居 タカ直クニ一式艦攻カ之ニ代ツタ、本機ノ防 禦裝備強化對策カ色々實施サレタ一方昭和十 六年試作開始セル銀河カ昭和十八年ヨリ實戦 ニ使用サレタ 運山ハ遠距離用高々度爆撃機トシテ昭和十八 年試作ヲ開始シ昭和二十年春ヨリ飛行試験ヲ 實施中ナリシモ生産ハ他ノ重點機體生産ノタ メ中止サレタ 大東亞戦争ノ當初ハ艦攻、艦爆及飛行艇ヲ偵 察機トシテ使用シタカ南洋海戦當時ヨリ 二式艦偵及百式風偵カ使用サレタ 昭和十七年試作ニ着手セル彩雲ハサイパン作

0477

特 殊 機		飛行艇並ニ水上機	
(イ) 特攻機		二式水戦、零式三座水偵、瑞雲カ第一線ニ活用シタ、飛行艇アハ二式大艇ト九七式大艇カ使用サレタ	戦頃ヨリ第一線ニ出動戦果ヲ擧ゲタ 別ニ高々度高迎ノ望上偵察機ノ試作カ昭 和十八年ヨリ開始サレ現在飛行試験中アアツ タカ實戦ニハ間ニ合ハナカツタ
(ロ) 優秀花		飛行艇ニ爆弾ヲ搭載シテ使用サレタ、其後益部ノ ノ特攻機トシテ準備サレタ	
昭和十九年夏ヨリ計畫ニ着手三ヶ月間ア機 体ヲ完成シ優秀花一機トシテ實戦ニ使用サ レタ			
其後航続力ヲ増大シ母機ヲ一式ヨリ銀河ニ 變更シテ優秀花二機ヲ試作中ナアツタ			
更に地上ヨリ優秀花四三型ガ計畫中			

0478

レツツアツタ
秋水
昭和十九年夏計畫ヲ開始シ本年三月末一號
機完成シタカ原動機ノ開始シ本年七月第一號
同試飛行ヲ實施セルノミアリシモ
トシテ生産ニ移行サレテイタ
橋花
昭和十九年末「一二」型裝備ノタビ
昭ケツト機トシテ試作ヲ開始サレタ使用目
的ハ近距離ニ進攻シ來タツタ敵艦船ノ攻撃
ニアル
其後「一二〇」型裝備ニ變更サレ本年六月
末一號機完成ハ八月上旬試飛行ニ成功シタ
本機ハ航路距離ハ少カツタガ其ノ高速度ヲ以
テスル邀撃作戰ニハ好適トサレ期待サレタ
處大テアツタ
五〇番一發搭載セル特攻機トシテ計畫サレ
タモノガ海軍機ハ極メテ簡單化サレ
作ノ簡易化ヲ計リ一方使用發動機ハ在軍
動機ヲ裝入スル如ク計畫サレ、急激ニ相當
敵ノ生産ヲ爲サレル餘部漏サレツツアツタ

機 体 開 係

木製鋼製関係	燃料関係	部品簡易化統一規格化	構造強度
アルミニウム資源ノ點リ機体構造材料ヲ不 製化スル必要ニ迫ラレ各種機体ノ部品及機 送機、練習機ノ機体ニ對シ全面的ニ實施シ更 ニ第一線機ノ木製化モ明星及明星改トシテ試 作研究中アリキ 鋼製化モ木製化ト概ネ平行的ニ試作研究カ行 メラレ第二線機ノ發動機整流機、動翼機ニ使 ノ用尙全鋼製乃至主要構造部分ノ鋼製化モ相當 ノ程度迄研究進ミアリヘ連山改一	アルコール、松根油使用費策トシテ左記諸項 フト月中ニ全機ニ完了スル如ク準備シテアリ リ (イ)燃料加熱装置 (ロ)起動油タンク (ハ)フアゴムバツキン類ヲ皮カネビアン系ニ轉 換	油路部品、脚緩衝装置等ノ簡易化計畫ノ實施 中 其他各種部品ノ統一規格化ヲ計リタリ	(イ)木製、鋼製構造ニ關スル基礎的資料 (ロ)強度試法改良、繰返荷重ニヨル疲勞強度 試験實施

機		機	
振動	工作簡易化	機体構造研究	速度増大
(イ) 剛性計算並ニアラツター速度推算法研究道 用 (ロ) フラツター模型實驗 (ハ) 機体發動機プロペラノ聯成振動ノ研究 (ニ) 動力系統ノ彈性支持法研究	孔規準方式ニヨリ組立治具ヲ不要ナラシメ且 組立所要時間ヲ短縮ス、彩雲ニテ實驗中ナリ キ	防彈燃料槽、自動消化裝置裝填實驗中ナリ 與陸軍基盤實驗終了	(イ) 發動機性能向上 (ロ) 機体抵抗減少策トシテ層流翼、後縁半徑ヲ 有スル翼型等ニツキ研究、立川ニテキル四 (ハ) ニテ計畫中ナリキ (ニ) フロペラ効率増大策トシテ振動數ノ低下ハ 同時ニ薄翼型ヲ使用スルコトトシ紫電改ニ ア實驗中 (ロ) ケツトニヨル増速ヲ計リ火藥噴出口ケツ ト、藥ロケツト、タービンロケツトヲ試作等 試行中三型、櫻花一一型、秋水及橘花等 ニテ實驗中ナリキ

0481

力 空	係	備
空圧縮性ニ關スル研究	高度性能向上	航續力増大
(一) 翼型ノ阻害速ニ於ケル性能 (二) 寸度效果ト壓縮效果ニ關スル研究 (三) 衝撃波發射後ニ於ケル風洞壁ノ影響ニ關スル研究	(一) アルコール噴射ニヨリ機發動機ノ彩雲 (二) 紫電改ニテ高度三〇〇〇米ニテ一五乃至二〇ノ節増 (三) 七〇〇〇米ニテ二〇ノ節増大ニヨリ月光ハ高度 (四) 上昇力相當ニ増大セリ (五) 一〇段ノ彩雲ハ九〇〇〇米ニテ三ノ節増大 (六) 二段ノ彩雲ハ九〇〇〇米ニテ三ノ節増大 (七) 三段ノ彩雲ハ九〇〇〇米ニテ三ノ節増大 (八) 二段ノ彩雲ハ九〇〇〇米ニテ三ノ節増大 (九) 二段ノ彩雲ハ九〇〇〇米ニテ三ノ節増大 (十) 二段ノ彩雲ハ九〇〇〇米ニテ三ノ節増大	(一) 燃費減少ノ研究トシテ機發動機ニ於テ使用 (二) 適切ナルバ巡航燃費ノ得タリ (三) 揚抗比増大ノタメ翼厚ノ矢高大ニシテ抵抗 (四) 小ナル翼型ヲ研究中ナリキ

0482

係 / 關	
翼ニ開スル研究	眼界層ニ開スル研究
(イ) 最大揚力ニ對スル寸度效果ノ研究 (ロ) 三次元翼ノ失速ニ關スル研究	(イ) 層流剝離ニ伴フ遷移ノ研究 (ロ) 亂レノ減衰ニ關スル研究

0483

發 動 機 類				實 驗 研 究 項 目	現 狀
試作發動機				「ハ四三」一型 (二二〇〇馬力級)	若 發 動 機 ノ 氣 化 結 晶 廠 シ 低 壓 噴 射 發 置 式 ト セ ル モ ノ ニ シ テ 飛 行 試 験 完 了 、 生 産 ニ 移 行 セ ン ト シ ツ ツ ア リ タ リ
試作發動機				「ハ四三」二型 (二二〇〇馬力級)	紫 電 改 ノ 高 々 度 性 能 同 上 ノ 爲 計 畫 セ ル 二 段 三 通 過 給 機 附 着 發 動 機 ニ シ テ 第 三 壓 全 開 高 度 ハ 二 〇 〇 米 二 十 年 七 月 初 號 機 完 成 、 招 合 運 轉 中 ナ リ
試作發動機				「ハ四三」三型 (二二〇〇馬力級)	乙 戦 斗 機 震 電 (陽 型 飛 行 機) 用 「 フ ル カ ン 」 手 式 二 段 過 給 機 、 高 壓 噴 射 式 、 延 長 「 プ ロ ペ ラ ー 」 軸 、 推 進 型 發 動 機 ニ シ テ 地 上 立 ニ 飛 行 機 試 験 實 施 中 ナ リ
試作發動機				「ハ四三」四型 (二二〇〇馬力級)	甲 戦 斗 機 烈 風 ノ 高 々 度 性 能 同 上 ノ 爲 計 畫 セ ル 流 入 フ ァ ン 「 併 用 」 一 段 三 通 過 給 機 附 着 發 動 機 シ テ 第 三 壓 全 開 高 度 ハ 二 〇 〇 米 二 十 年 七 月 初 機 完 成 、 招 合 運 轉 中 ナ リ
試作發動機				「ハ四三」五型 (二二〇〇馬力級)	至 冷 二 段 過 給 機 、 二 十 二 「 シ リ ン グ 」 發 置 機 「 ハ 四 三 」 一 型 馬 力 ヲ 發 生 シ 急 タ リ 、 目 下 地 上 試 久 運 轉 中 ニ シ テ 飛 行 試 験 ハ 未 済 ナ リ

機	油	機	油	機
試作機 「ハセ」型 （馬力）	試作機 「ハセ」型 （馬力）	試作機 「ハセ」型 （馬力）	試作機 「ハセ」型 （馬力）	試作機 「ハセ」型 （馬力）
試作機 「ハセ」型 （馬力）	試作機 「ハセ」型 （馬力）	試作機 「ハセ」型 （馬力）	試作機 「ハセ」型 （馬力）	試作機 「ハセ」型 （馬力）

一 木製フロベラ
(一) 型押硬化積層材製
フロベラ

(一)型押出化積層材製
ブローペラ

ニシユワルツ式ブロ
ベア

一 鮮 果 プ ロ プ

昭和十八年實験完成十九年秋一式陸攻ニ依リ
試飛行昭和二十年初頭ヨリ生産セラル
本プロペラハ厚サ一括ノ薄板ニフエノールレ
デシテ含浸、之ヲ型ニ入レ加熱加壓製造スルモ
ノニシテ其部ハ型ニヨリ所要ノ形状寸度ヲ得
レ型ヨリ取出シタル後ハ何等ノ仕上加工ノ必
ナク其根部ノミ機加工ナシ從來ノ「プロペラ
」ニ組立使用ス
其部モ其根部モ質均一ニシテ比重ハ一ニナリ
昭和二十年、赤地上實験終了本プロペラ製造法ハ獨
乙シユワルツプロペラト大差ナク其部ハ蝦夷松
普通可、其根部ハ硬化樹脂材ヲ使用ス
一、二馬力級以上ノモノハ耐フラツベシ強度
ノ保持困難ナリ

昭和十九年、陸試改良終了二十年春二式飛行艇ニ
依リ飛行實験終了引續キ各種飛行機用ノ試行生
産ニ移レリ
本プロペラハ不等肉圓錐ヲ切開キ型紙ニ依リ
真鍮ヲ削グ之ニ他ノ不等肉形取ヲ前後縁ニツ電
弧銼按シテ製作セル中空銅製プロペラ其ヲ從來
ノ型式ノ「ボス」ニ組立使用ス

圖

裝

原動機
「ロケット」

燃料「ロケット」原動機トシテハ過酸化水素 甲液及水加「ヒド」ラデシメタル「乙液」 ヲ使用スルモノヲ試作地上諸性能試験了シ 秋水ニ裝備ノ上行實驗ヲ實施スルト共ニ多 左座手能ヲナシツツアリタリ 本原動機ノ地上静止推力一五〇〇斤重一七〇 斤、全長約二五〇〇mm、幅約一〇〇mm、高サ約六五 〇mm、ニシテ推與ノ消費量ハ毎秒、甲液約六。七 リ、乙液約二。〇リナリ、同甲液濃度約八〇 ノモノヲ使用シ乙液トシテ水加「ヒド」ラデシ 約三〇多一濃度約八〇多「バネ」ノトル重七五水 一三%比率ノモノヲ使用セル場合ノ性能ヲ示ス ニ左ノ通り	毎分回転数 一三〇〇〇	推力 (kg) 一五〇〇	燃料重量 (kg) 一六。五	熱氣温度 (攝氏度) 五三〇	ポンプ吐出力 (kg/平方mm) 中試 二六。〇 乙試 二七。〇
--	------------------------	-------------------------	---------------------------	---------------------------	---

0489

電		氣		關		係	
玉三、夜間戰術機接用 電探用スピナー空中線	七月、電超短波通信用 空中線	放電管代用タンク ステン接貼	紫外線濾光板	アミラン被覆電線	タンクス、ステン接貼 ノ研究	動力銃架用電氣機	高々、飛行對策ノ一部トシテ油 機及帶制動機ヲ組合セ、仰 輪ヲ考案シ試作實驗中ナリシモ中止ス
七月、電超短波通信用 空中線	七月、電超短波通信用 空中線	接貼間隔ノ最適値ヲ決定スル基礎實驗終了更ニ 情報ナル支持器ヲ設計セル所ニテ中止	ニツグル、コバルトノ含有量少キ航空機諸外線 照明用濾光板ヲ研究シコバルト又含有セズニツ ケルヲ五%含有スルモノニシテ性能充分ナルモ ノヲ得タリ	アミラン被覆ヲ施スコトニヨリ從來ノモノニ比 シ耐油性著シク良好ナルモノヲ完成シ一部機内 配線ニ實用中	機土電源發電機附屬制動機ニ使用セル白金系接 貼ノ代用材料トシテタンクスステン接貼ヲ研究シ 概ネ良好ナルモノヲ得タルモ未ダ實用ニ進ラズ中止	高々、飛行對策ノ一部トシテ油 機及帶制動機ヲ組合セ、仰 輪ヲ考案シ試作實驗中ナリシモ中止ス	高々、飛行對策ノ一部トシテ油 機及帶制動機ヲ組合セ、仰 輪ヲ考案シ試作實驗中ナリシモ中止ス

0491

保 關 機 著 發

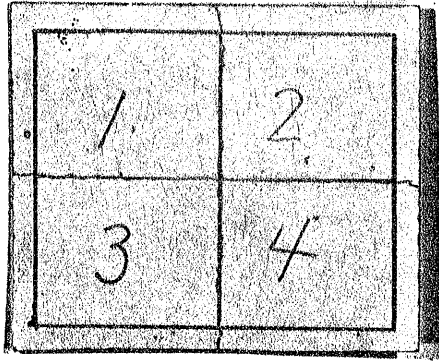
電 鐘 式 射 出 機	噴 進 射 出 機	火 藥 ロ ケ ヲ ト ニ ヨ ル 加 速 促 進 法	推 進 燃 料 理 論 及 噴 進 機 道 ノ 研 究	機 道 噴 進 射 出 機
重 力 及 原 動 力 ニ 利 用 ス ル モ ノ ニ シ テ 滑 空 機 ノ 訓 練 ニ 適 ス ル コ ト ヲ 目 的 ト シ 機 體 完 了 要 求 性 能 一 飛 行 機 體 一 五 節 射 出 速 度 一 五 節	火 藥 ロ ケ ヲ ト 原 動 力 ト ス ル 基 地 用 高 速 射 出 機 ニ シ テ 急 速 發 進 容 易 ナ ル コ ト ヲ 目 的 ト ス 成 績 良 好 ナ リ 作 能 一 飛 行 機 體 一 五 節 射 出 速 度 一 五 節	火 藥 ロ ケ ヲ ト ニ ヨ ル 飛 行 機 ノ 離 陸 加 速 促 進 方 式 及 空 中 加 速 方 法 ヲ 確 立 ス ル ヲ 目 的 ト シ 各 種 飛 行 機 ノ 離 陸 加 速 促 進 ヲ 實 驗 セ ル 處 何 レ モ 成 績 良 好 ニ シ テ 重 要 面 荷 重 ノ 飛 行 機 ニ 實 用 ス	推 進 燃 料 理 論 及 噴 進 機 道 ノ 研 究 シ 噴 進 機 ノ 好 段 計 算 料 ヲ 得 タ リ	運 搬 輕 便 ナ ル 射 出 機 ニ ヨ リ 六 番 及 二 十 五 番 機 ヲ 夫 々 一 〇 〇 米 及 約 一 萬 米 射 出 ス ル モ ノ ニ シ テ 六 番 機 彈 ハ 飛 行 用 ヲ 其 ノ 備 二 十 五 番 機 彈 ハ 一 部 加 工 ノ 上 使 用 ス 概 々 目 的 ヲ 達 足 ス ル 成 果 ヲ 得 作 戦 ニ モ 實 用 セ リ

0492

航空醫學關係

一 高々度飛行對策 ニ關スル研究 （一）與座面ノ改良 （二）秋水搭乗員ノ保健對策	ニ 加速度對策ニ關スル研究 三 其他ノ研究 （一）暗視ホルモンノ實用 （二）振動ノ人体ニ及ボス影響ノ研究
與座面ハ操縦員用一型及偵察員用二型ノ二種類 既ニ兵器トシテ制式化セラレタルモ着脱法ノ簡 單化等ニ就キ改良研究中 減壓症及鼓腸其他ノ障害ニ關スル研究ヲ一應終 了シ訓練方式ヲ暫定的ニ決定セリ	加速度ノ影響輕減裝置ノ一新方式ヲ考案シ人 用遠心力試験裝置ノ完成ヲ俟ツテ效力ヲ確認ス ルト共ニ實用ノ機ヲ俟チ改良ノ豫定 牛豚等ノ腦下垂体ヨリメラノソールホルモン ヲ抽出シ皮下注射ニ依リ低照度視力増強用ニ 使用シ更ニ資源ニ關シテハ深海魚ノ腦下垂体ヨ リ同ホルモンヲ抽出シ糖ネ成功セリ 各種振動數及振動ノ人体機能特ニ視認力ニ及ボ ス影響ヲ研究シ之ガ防護法ノ試案ヲ得タリ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0494
0495
0496
0497

海軍現用機性能要目一覽表

昭和二十年八月二十二日

機種	機名	略符号	製造所	型式	座数	主要寸度			重量			発動機				プロペラ	燃料搭載量 (kg)	性能						
						全幅 米	全長 米	全高 米	主翼面積 米 ²	自重 kg	正規全備 kg	過荷重 kg	名義 基数	離昇力 kg	最高速度/高度			上昇時間/高度		航続距離 km	航積力 kg/km			
															km/h			ft/min	分/分			分/分		
甲	零戦五二型	A6M5	三菱	単低単	1	11.000	9.237	2.986	21.26	1750	2686	2952	榮二一 1	1130	1100/2.35	980/6.0	3200 ハミルトン 3.05	570 (330)	290/3.35	302/6.0	7-1/6.0	16.23/8.0	11.700	849/180/4.0
	零戦六二型	A6M7	三菱	単低単	1	11.000	9.237	2.986	21.26	2050	3000	3800	榮三一 1	1130	1100/2.35	980/6.4	3200 ハミルトン 3.05	570 (300)	270/2.75	293/6.4	7-1/8.0	16.23/8.0	10.180	820/200/4.0
乙	雷電二一型	J2M3	三菱	単低単	1	10.800	9.945	3.945	20.05	2460	3435	3490	火星二三 1	1900	1120/2.1	1580/5.5	4200 V.D.M. 3.3		294/2.4	317/5.3	2.56/3.0	6.14/6.0	11.700	1023/190/3.0
	紫電一一型	NIK1-J	川西	単中単	1	11.990	9.346	3.960	23.5		3750	4316	榮二一 1	1990		1625/6.1	4200 V.D.M. 3.3		290/3.0	308/5.6				
丙	紫電改	NIK2-J	川西	単低単	1	11.990	9.346	3.960	23.5	2657	4000	4860	榮二一 1	1990		1625/6.1	4200 V.D.M. 3.3	716 (400)	312/3.0	321/5.6		7.22/6.0	10.760	470.5km/h 460/200/3.0 860
	月光一一型	J1N1	中島	双低単	2						7250	7944	榮二一 2	1130	1100/2.35	980/6.0	3200 ハミルトン		265/1.33	270/6.0	5-1/3.0	11.56/6.0	9.400	1300/180/4.0
丁	彗星一戊型	D4Y2-S	愛知	単中単	2	11.500	10.120	3.750	23.6	2550	3750	4500	金星三 1	1400	1100/2.7	1280/5.0	3200 ハミルトン 3.2	1070		313/5.25	434/3.0	9.14/6.0	10.700	1291/230/3.0
	彩雲	C6N1	中島	単低単	3	12.500	11.000	3.960	25.5	2968	4500	4679 5274	榮二一 1	1820		1500/6.6	3200 ハミルトン 3.5	1340 (724)		329/6.1	8-7/6.0		10.740	1653/210/4.0
戊	天山一二型	B6N2	中島	単低単	3	14.000	11.000	4.100	37.2	3100	5200	5650	火星二五 1	1850	1100/2.1	1540/5.5	4200 ハミルトン 3.5	1400	255/2.5	260/4.9	5.34/3.0	13.33/6.0	9.040	934/180/4.0
	流星	B7A1	愛知	単中単	2	14.400	11.490	4.070	35.4	3674	5700	6500	榮二一 1	1825		1495/6.55	4200 V.D.M. 3.45	1406		293/6.2	10.27/6.0		8.950	1000(500km/h x1) 1440(500km/h x1) 1640(最高 x1)
己	彗星三三型	D4Y3	愛知	単中単	2	11.500	10.120	3.750	23.6	2501	3750	4657	金星六二 1	1650	1330/2.3	1190/5.8	3200 ハミルトン 3.0	1070 (300x2)		304/5.9	4.35/3.0		9.900	1570/200/3.0
	彗星四三型	D4Y4	愛知	単中単	1	11.500	10.120	3.750	23.6	2635	4200	4750	金星六二 1	1650	1350/2.3	1190/5.8	3200 ハミルトン 3.0	950		289/5.5			8500	1200/200/3.0
庚	銀河一一型	P1Y1	中島	双中単	3	20.000	15.000	4.300	55.0	7265	10500	13500	榮二一 2	1820		1500/6.6	3200 ハミルトン 3.5	5700	279/2.9	295/5.9	4-15/3.0	9.44/6.0	9.400	1036/200/4.0
	銀河一二型	P1Y2	川西	双中単	3	20.000	15.000	4.300	55.0	7265	10500	13500	火星二五 2	1850	1680/2.1	1540/5.5	3200 ハミルトン 3.5		265/2.9	282/5.9	9.23/3.0	9.44/6.0	9.560	980/200/4.0
辛	一式陸攻一四型	G4M2A	三菱	双中単	7	25.000	20.000	4.800	78.1	8350	12500	15000	火星二五 2	1850	1680/2.1	1540/5.5	4200 ハミルトン 3.4		236/2.0	246/4.6	7.16/3.0	30.24/8.0	8.950	850/170/3.0
	一式陸攻三四型	G4M3	三菱	双中単	7	25.000	20.000	4.800	78.1	8350	12500	15000	火星二五 2	1850	1680/2.1	1540/5.5	4200 ハミルトン 3.4	4400	236/2.2	246/5.0	7.25/3.0	20.10/7.0		2404/170/3.0
壬	零式水偵一一型	E13A1	愛知	単低単	3	14.500	12.000		36.0	2900	3600	4000	金星四三 1	1060	1080/2.5		3200 ハミルトン 3.2	1400	195/2.5		6.39/3.0	9.09/4.0	8.730	780/120/2.0
	瑞雲一一型	E16A1	愛知	単低単	2	13.000	11.300		28.0	2900	3900	4500	金星五一 1	1300	1200/3.0	1100/6.2	3200 ハミルトン 3.2	1400	228/2.4	237/2.4	4.40/3.0	10.32/6.0	10.000	568/190/5.0

海軍現用機性能要目一覧表

昭和二十年八月二十二日調 第一海軍技術廠飛行機部

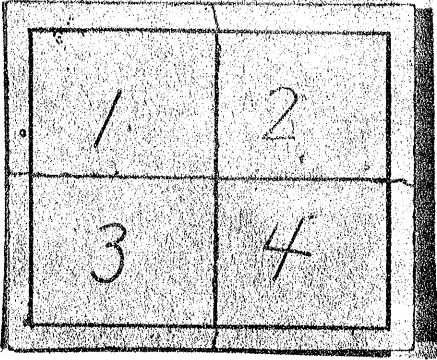
軍極秘

寸 法		重 量			機 種		プロペラ		燃料搭載量 (リットル)	性 能				装 束		備 考	摘 要				
全 高	主 翼 幅	自 重	正規乗員	通所重	名 義	機 種	H/44	H/47	最高速/高度	上昇時間/高度	実用上昇限	航 続 力	着 速	射 撃	爆 撃						
米	米	斤	人	斤	数	種			立	分/秒	分/秒	分/秒	分/秒	分	口径×基数	重量×基数	坪/米				
2.986	21.26	1750	2686	2952	2	1100	1100/2.35	980/6.0	3.24 ハミルトン 3.05	570 (330)	290/3.35	302/6.0	7-1/6.0	14-33/8.0	11.740	849/180/4.0 1037	69	20×2 13×1 (77×1)	60×2 2×30×2 2×250×1	126	
2.986	21.26	2050	3000	3800	2	1100	1100/2.35	980/6.4	3.24 ハミルトン 3.05	570 (300)	270/2.75	293/6.4	7-1/8.0	14-33/8.0	10.180	820/200/4.0 1600	73	13×2 2×13×3 20×2	60×2 2×30×2 2×250×1	141	
3.985	20.05	2460	3435	3490	2	1700	1720/2.1	1580/5.5	4.24 V.D.M. 3.3		294/2.4	317/5.3	2-56/3.0	6-14/6.0	11.700	1025/190/3.0		20×4	60×2	173	
3.960	23.5		3750	4316	2	1990		1625/6.1	4.24 V.D.M. 3.3		290/3.0	308/5.6						7.7×2 20×4	60×2	160	
3.960	23.5	2657	4000	4360	2	1990		1625/6.1	4.24 V.D.M. 3.3	716 (400)	312/3.0	321/5.6	7-22/6.0		10.760	460/200/3.0 860	78	20×4	60×4 2×250×2	162	
			7250	7944	2	1130	1100/2.35	980/6.0	3.24 ハミルトン		265/1.33	270/6.0	5-1/3.0	11-56/6.0	9.400	1300/180/4.0 1700	70	20×4×3	60×2 2×250×2	181	
3.750	23.6	2550	3750	4500	2	1400	1100/1.7	1280/5.0	3.24 ハミルトン 3.2	1070		313/5.25	4-36/3.0	9-16/6.0	10.700	1291/230/3.0 1945	78	7.7×2 20×4×1	500×1 2×250×3	162	
3.960	25.5	2968	4500	4679	2	1820		1500/6.6	3.24 ハミルトン 3.5	1340 (924)		329/6.1	8-7/6.0		10.740	1663/210/4.0 2027 2860	75	7.9×2×1		176	
4.100	37.2	3100	5200	5650	2	1820	1100/2.1	1540/5.5	4.24 ハミルトン 3.5	1400	255/2.5	260/4.9	5-34/3.0	13-33/6.0	9.040	934/180/4.0 1644	75	13.2×1 7.9×2×1	2×300×1 2×350×2 2×60×2	140	
4.070	35.4	3674	5700	6300	2	1820		1495/6.55	4.24 V.D.M. 3.45	1406		293/6.2	10-37/6.0		8.950	1000(500×1) 1640(500×1) 1610(500×1)	69.5	20×2 13.2×1	2×300×1 2×350×2 2×60×2	161	
3.750	23.6	2501	3750	4657	2	1650	1350/2.3	1190/5.8	3.24 ハミルトン 3.0	1070 (300/12)		304/5.9	4-35/3.0		9.900	1570/200/3.0	72.0	7.7×2 7.9×2×1	500×1 2×250×3	159	
3.750	23.6	2655	4200	4950	2	1650	1350/2.3	1190/5.8	3.24 ハミルトン 3.0	950		289/5.5			8500	1200/200/3.0			800×1	178	
4.300	55.0	7265	10500	13500	2	1820		1500/6.6	3.24 ハミルトン 3.5	5700	279/2.9	295/5.9	4-15/3.0	9-44/6.0	9400	1036/200/4.0 3340	76.0	13.2×1 13.2×1	2×300×1 2×350×2 2×60×2	191	
4.300	55.0				2	1850	1680/2.1	1540/5.5	3.24 ハミルトン		265/2.0	282/4.6	9-23/3.0		9560	980/200/4.0	76.0	20×2×1 13.2×1	同上	191	
4.800	78.1				2	1850	1680/2.1	1540/5.5	4.24 ハミルトン 3.4		236/2.0	246/4.6	7-16/3.0	30-24/8.0	8.950	850/170/3.0 2550/170/3.0	70.0	20×2×4 13.2×1	2×300×1 2×350×2 2×60×2	160	
4.800	78.1	8350	12500	15000	2	1850	1680/2.1	1540/5.5	4.24 ハミルトン 3.4	4400	236/2.2	246/5.0	7-25/3.0	20-10/7.0		2404/170/3.0		20×2×4 13.2×1	同上	160	
	36.0	2900	3600	4000	2	1060	1080/2.5		3.24 ハミルトン 3.2	1400	195/2.5	6-39/3.0	9-08/4.0		8.730	780/120/2.0 1395	63.0	7.7×2×1 20×2×1	60×4 2×250×1	101	
									3.24		227/4.10	227/4.10	10-32/4.0			568/190/5.0		20×2	250×1		

甲	零戦五二型	A6M5	三菱	単低	11-000	9-237	2986	21-26	1750	2686	2952	1130	1100/2.35	980/6.0	3機ハミルトン 3.05 (330)	570	290/3.35	302/6.0	7-1/6.0	10-33/8.0	11-740	849/180/4.0	
戦	零戦六二型	A6M7	三菱	単低	11-000	9-237	2986	21-26	2050	3000	3800	1130	1100/2.35	980/6.4	3機ハミルトン 3.05 (300)	570	270/2.75	293/6.4	7-58/8.0	10-180	820/200/4.0	1600	
乙	雷電二一型	J2M3	三菱	単低	10-800	9-945	3-945	20-05	2460	3435	3490	1900	1720/2.1	1580/5.5	4機V.D.M. 3.3		294/2.4	317/5.3	2-56/3.0	6-14/6.0	11-700	1025/190/3.0	
戦	紫電一一型	NIK1-J	川西	単中	11-990	9-346	3-960	23-5		3750	4316	1990		1625/6.1	4機V.D.M. 3.3		290/3.0	308/5.6					
戦	紫電改	NIK2-J	川西	単低	11-990	9-346	3-960	23-5	2657	4000	4860	1990		1625/6.1	4機V.D.M. 3.3 (400)	716	312/3.0	321/5.6	7-22/6.0	10-760	460/200/3.0	860	
丙	月光一一型	J1N1	中島	双低						7250	7944	1130	1100/2.35	980/6.0	3機ハミルトン		265/3.3	270/6.0	5-1/3.0	11-56/6.0	9-400	1300/180/4.0	1700
戦	彗星一二型	D4Y2-S	愛知	単中	11-500	10-120	3-750	23-6	2550	3750	4500	1400	1340/1.7	1280/5.0	3機ハミルトン 3.2	1070		313/5.25	4-36/3.0	9-16/6.0	10-700	1291/230/3.0	1945
艦	彩雲	C6N1	中島	単低	12-500	11-000	3-960	25-5	2968	4500	4679	1820		1500/6.6	3機ハミルトン 3.5 (726)	1340		329/6.1	8-9/6.0		10-740	1663/210/4.0	2021
艦	天山一二型	B6N2	中島	単低	14-000	11-000	4-100	37-2	3100	5200	5650	1850	1680/2.1	1540/5.5	4機ハミルトン 3.5	1400	255/2.5	260/4.9	5-34/3.0	13-33/6.0	9-040	934/180/4.0	1644
攻	流星	B7A1	愛知	単中	14-400	11-490	4-070	35-4	3674	5700	6500	1825		1495/6.55	4機V.D.M. 3.45	1406		293/6.2	10-29/6.0		8-980	1000(500) x 1.640(500) x 1.640(奥) x 1.640	
爆	彗星三三型	D4Y3	愛知	単中	11-500	10-120	3-750	23-6	2501	3750	4657	1650	1350/2.3	1190/5.8	3機ハミルトン 3.0	1070 (300x2)		304/5.9	4-35/3.0		9-900	1570/200/3.0	
控	彗星四三型	D4Y4	愛知	単中	11-500	10-120	3-750	23-6	2635	4200	4750	1650	1350/2.3	1190/5.8	3機ハミルトン 3.0	950		289/5.5			8-500	1200/200/3.0	
機	銀河一一型	P1Y1	中島	双中	20-000	15-000	4-300	55-0	7265	10500	13500	1820		1500/6.6	3機ハミルトン 3.5	5700	279/2.9	295/5.9	4-15/3.0	9-44/6.0	9-800	1036/200/4.0	3340
機	銀河一二型	P1Y2	川西	双中	20-000	15-000	4-300	55-0		5500		1850	1680/2.1	1540/5.5	3機ハミルトン		265/2.1	282/5.1	9-23/5.0	9-560	1080/200/4.0		
機	一式陸攻二四型	G4M2A	三菱	双中	25-000	20-000	4-800	78-1	810	12500	15500	1850	1680/2.1	1540/5.5	4機ハミルトン 3.4		236/2.0	246/4.6	7-16/3.0	30-24/8.0	8-950	150/170/3.0	2850/170/3.0
攻	一式陸攻三四型	G4M3	三菱	双中	25-000	20-000	4-800	78-1	8350	12500	15000	1850	1680/2.1	1540/5.5	4機ハミルトン 3.4	4400	236/2.2	246/5.0	7-25/3.0	20-10/7.0		2400/170/3.0	
水	零式水偵一一型	E13A1	愛知	単低	14-500	12-000		36-0	2900	3600	4000	1060	1080/2.5		3機ハミルトン 3.2	1400	195/2.5		6-38/3.0	9-09/4.0	8-730	780/120/2.0	1395
水	瑞雲一一型	E16A1	愛知	単低	13-000	11-300		28-0	2900	3900	4500	1300	1200/3.0	1100/6.2	3機ハミルトン 3.2	1400	228/2.84	237/5.46	4-11/3.0	10-32/6.0	10-000	568/190/5.0	1214
爆	晴嵐	M6A1	愛知	単低	12-262	10-640	4-580	27-0	3362	4250	4900	1400	1340/1.7	1280/5.0	3機ハミルトン 3.2	934		256/5.2	5-48/3.0		9-900	642/160/3.0	
式	二式丸行艇	H8K2	川西	四高				160	17500	24500	32500	1850	1680/2.1	1540/5.5	4機ハミルトン	15000	232/2.2	245.5/4.72	7-55/4.0	13-32/6.0	9-120	3862/160/4.0	
式	東海	Q1W1	九龍	双低	16-000	12-085	4-118	38-21	3102	4800	5318	620	480/1.5		3機ハミルトン 2.5	1200	174/1.34		8-44/2.0		4-490	725/130/1.0	1304
輸	零式輸送機二二型	L2D2	昭和	双低	5+24			75-0			12500	1300	1200/3.0	1100/6.2	3機ハミルトン 3.4	3300	207/2.8	213/5.52	8-20/3.0	22-30/6.0		1765/140/2.0	2670
送	晴空三二型	H8K2L	川西	四高							30000	1850	1680/2.2	1540/6.5			234.5/2.0					1660/160/3.0	3105

986	21.26	1750	2686	2952	第一 1	1120	1100/ 2.85	980/ 6.0	3.2mm ハミルトン 3.05	570 (330)	290/ 3.35	302/ 6.0	7-1/ 6.0	10-33/ 8.0	11.740	849/180/4.0 1037	69	20x2 13x1 (77x1)	80x2 250x1	126
986	21.26	2050	3000	3800	第一 1	1120	1100/ 2.85	980/ 6.4	3.2mm ハミルトン 3.05	570 (300)	270/ 2.75	293/ 6.4		7-55/ 8.0	10.180	820/200/4.0 1600	73	13x2 (13x3) 2.0x2	60x2 30x4 500x1 27x12	141
945	20.05	2460	3435	3490	第二 1	1700	1720/ 2.1	1580/ 5.5	4.2mm V.D.M. 3.3		294/ 2.4	317/ 5.3	2-56/ 3.0	6-14/ 6.0	11.700	1025/190/3.0		20x4	60x2	173
960	23.5		3750	4316	第一 1	1700		1625/ 6.1	4.2mm V.D.M. 3.3		290/ 3.0	308/ 5.6						7.7x2 2.0x4	60x2	160
960	23.5	2657	4000	4860	第一 1	1990		1625/ 6.1	4.2mm V.D.M. 3.3	716 (400)	312/ 3.0	321/ 5.6		7-22/ 6.0	10.760	全カ65mm 460/200/3.0 860	78	20x4	60x4 250x2	162
			7250	7944	第一 2	1130	1100/ 2.85	980/ 6.0	3.2mm ハミルトン		265/ 1.33	270/ 6.0	5-1/ 3.0	11-56/ 6.0	9.400	1300/180/4.0 1700	70	20斜x3	60x2 250x2	181
750	23.6	2550	3750	4500	第二 1	1400	1840/ 1.7	1280/ 5.0	3.2mm ハミルトン 3.2	1070		313/ 5.25	4-36/ 3.0	9-16/ 6.0	10.700	1291/230/3.0 1945	78	7.7x2 20斜x1	500x1 250x3	162
960	25.5	2968	4500	5294	第一 1	1820		1500/ 6.6	3.2mm ハミルトン 3.5	1340 (724)		329/ 6.1	8-9/ 6.0		10.740	1663/210/4.0 2027 2860	75	7.9旋x1		176
100	37.2	3100	5200	5650	第二 1	1850	1680/ 2.1	1540/ 5.5	4.2mm ハミルトン 3.5	1400	255/ 2.5	260/ 4.9	5-34/ 3.0	13-33/ 6.0	9.040	934/180/4.0 1644	75	13旋x1 7.9旋x1	800x1 250x1 250x2 60x6	140
070	35.4	3674	5700	6500	第一 1	1850		1495/ 6.55	4.2mm V.D.M. 3.45	1406		293/ 6.2	10-27/ 6.0		8.950	1000(500x1) 1640(500x1) 1610(800x1)	69.5	2.0x2 13旋x1	800x1 250x1 250x2	161
750	23.6	2501	3750	4657	第二 1	1650	1350/ 2.3	1190/ 5.8	3.2mm ハミルトン 3.0	1070 (300x2)		304/ 5.9	4-35/ 3.0		9.900	1570/200/3.0	72.0	7.7x2 7.9旋x1	500x1 250x3	159
750	23.6	2635	4200	4950	第一 1	1650	1350/ 2.3	1190/ 5.8	3.2mm ハミルトン 3.0	950		289/ 5.5			8500	1200/200/3.0			800x1	178
300	55.0	7200	10500	13500	第一 2	1820		1500/ 6.6	3.2mm ハミルトン 3.5	5700	279/ 2.9	296/ 5.9	4-15/ 3.0	9-44/ 6.0	9.400	1036/200/4.0 3340	76.0	13x2斜 13旋x1	800x1 250x1 250x2	191
800	55.0				第二 2	1850	1680/ 2.1	1540/ 5.5	3.2mm ハミルトン		265/ 2.5	282/ 5.4		9-23/ 5.0	9560	980/200/4.0	76.0	20旋x1 13旋x1	同上	191
800	77.1				第二 2	1850	1680/ 2.1	1540/ 5.5	3.2mm ハミルトン 3.4			265/ 2.0	7-16/ 3.0	30-24/ 8.0	8950	850/170/3.0 2550/170/3.0	70.0	20旋x1 13旋x1	同上 250x2 250x4	160
800	77.1	8350	12500	16000	第二 2	1850	1680/ 2.1	1540/ 5.5	4.2mm ハミルトン 3.4	4400	234/ 2.2	246/ 5.0	7-25/ 3.0	20-10/ 7.0		2404/170/3.0		20旋x1 13旋x1	同上	160
	36.0	2900	3600	4000	第三 1	1060	1000/ 2.5		3.2mm ハミルトン 3.2	1400	195/ 2.5		6-39/ 3.0	9-09/ 4.0	8730	780/120/2.0 1395	63.0	7.7旋x1 20旋x1	60x4 250x1	101
	28.0	2900	3900	4500	第一 1	1300	1000/ 3.0	1100/ 6.2	3.2mm ハミルトン 3.2	1400	228/ 2.84	237/ 5.46	4-11/ 3.0	10-32/ 6.0	10000	568/190/5.0 1214	65.0	20x2 13旋x1	250x1 60x2	140
580	27.0	3362	4250	4900	第二 1	1400	1000/ 1.7	1280/ 5.0	3.2mm ハミルトン 3.2	934		256/ 5.2	5-48/ 3.0		9900	642/160/3.0	68	13旋x1	800x1 250x1	158
	160	17500	24500	32500	第一 4	1850	1680/ 2.1	1540/ 5.5	4.2mm ハミルトン	15000	232/ 2.2	245.5/ 4.72	7-55/ 4.0	13-32/ 6.0	9120	3862/160/4.0	70.0	20旋x5 7.7旋x4		153
118	38.21	3102	4800	5312	第二 2	620	1000/ 1.5		3.2mm ハミルトン 2.5	1200	174/ 1.34		8-44/ 2.0		4490	725/130/1.0 1304	69.5	7.7x1 20x1	250x2	126
	75.0			12500	第一 2	1300	1000/ 3.0	1100/ 6.2	3.2mm ハミルトン 3.4	3300	207/ 2.8	213/ 5.52	8-20/ 3.0	22-37/ 6.0		1765/140/2.0 2670				136
				20000	第二 4	1850	1680/ 2.2	1540/ 5.5			234.5/ 2.0					1660/160/3.0 3105		13旋x2		188

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0498
0499
0500
0501

海軍試作機性能要目一覽表

軍極秘

機名	製造所	型式	座数	主翼寸法				重量			發動機			燃料搭載量 (増備)	性能			兵器			備考	
				全幅	全長	全高	翼面積	自重	全機重量	空機重量	名義馬力	離昇馬力	公稱馬力		最高速度	上昇時間	上昇率	航続力	備註	機銃		爆弾
三愛	三愛	1	11,000	9,237	2,986	21.3	2,150	3,150	3,800	ハ 39, 62型 x1	1350	1180	3 型 3,150 (300 x1 + 200 x2)	650	309	6'-50"	14'20"	全機 0.5 時間 + 増備 2.3 時間	70.5	機銃 20 x 2 = 120 x2 機銃 13 x 2 = 260 x2	500 x1 x1 60 x2 x1 30 x2	無線機 (100 x1)
川西	川西	1	11,970	9,346	3,960	23.5	2,657	4,000	4,360	ハ 45, 21型 x1	1990	1625	4 型 3,300 V.D.M.	716	331	7'-22"	10'70"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.3 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.4 時間	78	機銃 20 x 2 = 200 x2 機銃 20 x 2 = 250 x2	280 x2 x1 60 x2	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
三愛	三愛	1	10,800	9,145	3,945	20.1	2,823	3,947	3,976	ハ 32, 23型 x1	1820	1420	4 型 3,350 V.D.M.	570	331	19'-20"	11'55"	全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 1.8 時間	82	機銃 20 x 2 = 190 x2 機銃 20 x 2 = 150 x2	30 x2 x1 60 x2	無線機 (100 x1)
三愛	三愛	1	10,800	9,945	3,945	20.1	2,510	3,482	3,900	ハ 32, 26型 x1	1820	1400	3 型 3,300 V.D.M.	710	315	6'-20"	11'35"	全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 1.2 時間	82	機銃 20 x 2 = 190 x2 機銃 20 x 2 = 150 x2	30 x2 x1 60 x2	無線機 (100 x1)
九龍	九龍	1	11,844	9,660	3,920	20.5	3,465	4,928	5,228	ハ 43, 42型 x1	2130	1660	6 型 3,400 V.D.M.	800	405	10'-40"	15'30"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	93	機銃 20 x 2 = 90 x2	60 x2 x1 30 x2	無線機 (100 x1)
三愛	三愛	1	14,000	11,000	4,280	31.3	3,100	4,720	5,300	ハ 43, 11型 x1	2300	1800	4 型 3,400 V.D.M.	980	399	6'-17"	10'30"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	90	機銃 20 x 2 = 200 x2	60 x2 x1 30 x2	無線機 (100 x1)
三愛	三愛	1	14,800	11,984	4,240	31.3	3,955	5,675	6,500	ハ 43, 11型 x1	2200	1920	4 型 3,400 V.D.M.	1020	343	15'-15"	11'50"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	91	機銃 20 x 2 = 60 x2 機銃 20 x 2 = 100 x2 機銃 20 x 2 = 100 x2	250 x2 x1 60 x2 x1 30 x2	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
愛知	愛知	2	17,500	14,250	4,250	47.0	6,900	9,700	10,400	ハ 45, 22型 x2	2000	1700	4 型 3,400 V.D.M.	1340	388	9'-30"	14'00"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	92	機銃 20 x 2 = 300 x2 機銃 20 x 2 = 100 x2 機銃 20 x 2 = 100 x2	250 x2 x1 60 x2 x1 30 x2	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
中島	中島	3	12,200	10,000	3,960	28.5	2,908	4,500	5,274	ハ 45, 21型 x2	1920	1500	3 型 3,400 V.D.M.	1340	329	8'-09"	10'30"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	92	機銃 20 x 2 = 1 x -	-	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
中島	中島	3	12,500	10,000	3,960	28.5	3,100	4,725	5,495	ハ 45, 22型 x1	2000	1700	3 型 3,400 V.D.M.	1340	344	9'-35"	12'00"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	92	機銃 20 x 2 = 1 x -	-	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
一茂	一茂	2	14,000	13,050	4,240	34.0	6,015	8,100	9,400	ハ 70, 01型 x2	-	3000	6 型 3,400 V.D.M.	1156	460	21'-0"	11'00"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	95	機銃 20 x 2 = 1 x -	-	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
一茂	一茂	2	14,000	13,050	4,240	34.0	5,700	8,850	9,950	ハ 330, 12型 x2	-	3300	6 型 3,400 V.D.M.	1156	425	7'-0"	10'50"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	96	機銃 20 x 2 = 1 x -	-	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
愛知	愛知	2	14,400	11,490	4,070	35.4	3,674	5,700	6,500	ハ 45, 12型 x1	1825	1475	4 型 3,45 V.D.M.	1406	243	10'-29"	9'50"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	99.5	機銃 20 x 2 = 1 x - 機銃 13 x 2 = 1 x -	600 x1 x1 300 x1 x1 250 x2	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
愛知	愛知	2	14,400	11,490	4,070	35.4	4,030	6,000	6,500	ハ 43, 11型 x1	2200	1800	4 型 3,45 V.D.M.	1400	315	-	10'30"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	95	全上	全上	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
川西	川西	3	20,000	15,000	4,300	55.0	7,138	10,500	11,472	ハ 32, 25型 x1	1850	1540	3 型 3,400 V.D.M.	2692	252	9'-25"	9'50"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	95.0	機銃 20 x 2 = 1 x - 機銃 13 x 2 = 1 x -	600 x2 x1 300 x1 x1 250 x2	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
川西	川西	3	20,000	15,000	4,300	55.0	7,800	11,300	13,500	ハ 45, 11型 x2	2200	1625	3 型 3,400 V.D.M.	2692	289	9'-25"	9'50"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	95.0	機銃 20 x 2 = 1 x - 機銃 13 x 2 = 1 x -	600 x2 x1 300 x1 x1 250 x2	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)
川西	川西	3	20,000	15,000	4,300	55.0	7,800	12,000	13,500	ハ 45, 11型 x2	2200	1625	3 型 3,400 V.D.M.	2692	289	9'-25"	9'50"	5 型: 全機 0.5 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間 増備: 全機 0.4 時間 + 200 増/1000 増 + 2.0 時間	95.0	機銃 20 x 2 = 1 x - 機銃 13 x 2 = 1 x -	600 x2 x1 300 x1 x1 250 x2	無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1) 無線機 (100 x1)

要性能機作試軍一覽表

秘極軍

昭和二十年八月二十三日調 第一海軍技術廠飛行機部

機名	型式	重量	馬力	速度	高度	航程	備考
試作機	試作機	1350	1100	2100	6500	309	試作機
試作機	試作機	1490	1200	2200	6500	321	試作機
試作機	試作機	1520	1200	2200	6500	331	試作機
試作機	試作機	1520	1200	2200	6500	315	試作機
試作機	試作機	2130	1400	2400	6500	405	試作機
試作機	試作機	2340	1600	2600	6500	339	試作機
試作機	試作機	2370	1600	2600	6500	343	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	348	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	329	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	345	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	400	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	423	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	293	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	318	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	332	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	295	試作機
試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	295	試作機

性能	機名	型式	重量	馬力	速度	高度	航程	備考
試作機	試作機	試作機	1350	1100	2100	6500	309	試作機
試作機	試作機	試作機	1490	1200	2200	6500	321	試作機
試作機	試作機	試作機	1520	1200	2200	6500	331	試作機
試作機	試作機	試作機	1520	1200	2200	6500	315	試作機
試作機	試作機	試作機	2130	1400	2400	6500	405	試作機
試作機	試作機	試作機	2340	1600	2600	6500	339	試作機
試作機	試作機	試作機	2370	1600	2600	6500	343	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	348	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	329	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	345	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	400	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	423	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	293	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	318	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	332	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	295	試作機
試作機	試作機	試作機	2380	1600	2600	6500	295	試作機

試作發動機一覽表

(但 試作完成セル代表的發動機(記) 製作中又(計画)中、モノヲ含マズ)

20 8-28
第一海軍技術廠

製造所	名 稱	發動機型式	筒径×行程 (mm)	總行程容積 (cc)	性能 離昇馬力	公稱馬力 公稱高度		特 徵	搭載(予定)機体	現 狀
						一	二			
第一海軍工廠	45, 23型	空冷星型 18氣筒	130×150	35.8	1990	1860 1750	1625 6100	一段=透過給器 低圧噴射	銀河彩雲 紫電改流星	多量生産中地上空中実験略 完了 最近重車前面ヨリ燃料・噴射機・電機 = 紫電改流星
	44型	・	・	・	1910	1830 2300	1640 6800	二段=透過給器 低圧噴射	紫電改	20年7月下旬初号機完成・相模 運輸中 2号機1人1機製作中
	44, 13型	・	146×160	48.2	2300	2250 2000	2080 6700	一段=透過給器 低圧噴射	・	試作中第一海軍工廠・G.46 = 次々試作中・紫電改流星 陸軍機体・ラ行実験中
	43, 11型	・	140×150	41.6	2150	2020 1100	1800 6100	一段=透過給器 高圧噴射	烈風	多量生産中金星ヨリ18氣筒・セル 水動機・ニテ1本海軍 共飛行実験中
	42型	・	・	・	2100	1850 2000	1600 8400	二段フルン過給器 高圧噴射延長軸推進型	震電	試作中震雷用發動機・ニテ 飛行実験中1・2号機・九州 飛行機・ア3号機以降製作中
	42型	・	・	・	2130	2000 1800	1800 6000	一段=透過給器 高圧噴射(軸流ファン)	烈風	20年7月中旬初号機完成・相模 運輸中 2号機以降製作中
	42, 21型	・	150×170	54.1	2500	2300 2000	2000 6400	一段=透過給器 高圧噴射	・	火星ヨリ18氣筒・セル 機・ニテ地上実験中
	42, 21型	・	・	・	2400	2130 1800	1730 8300	二段フルン過給器 高圧噴射	・	陸軍機・67=「二段フルン 過給器」・飛行実験中
第二海軍工廠	42, 21型	空冷星型 22氣筒	150×170	66.1	3050	2860 2500	2510 6200	一段=透過給器 高圧噴射	・	日本最初・22氣筒水動機 = ニテ空冷水動機・ニテ馬力 大ナルト世界第一ノ目標 地上実験中
	42, 21型	空冷星型 22氣筒	150×160	67.8	3400	3040 2500	3040 5800	一段フルン過給器 高圧噴射	景雲	又又3型延長軸・ニテ11月 体内裝備 景雲=ニテ飛行実験中

0502

試作噴進原動機一覽表

30.8.26
第一海軍技術廠

製造所	名	式	同轉數 分	全長 mm	外徑 mm	重量 kg	性能(地上)		特 徴	搭載(原定)機体		現 状
							推力 kg	燃費 g/hp		海軍	陸軍	
上艦本系工機	第一技術廠	ネ 20 型	タービン ロケット	11000	700	620	470	475	900	ガスタービンヨリ 送風機ヲ驅動スルター ビンロケット	桐花 四三	性能試験、耐久試験ヲ 完了シ飛行試験施行中 20年7月ヨリ量産ニ移行中
石川島	ネ 130 型	同	上	9000	3850	850	900	900	1800	同	上	性能試験施行中
日立航空機	ネ 230 型	同	上	8100	3450	914 762	870	885	1530	同	上	同 上
三菱機動	ネ 330 型	同	上	7600	4000	1180 880	1200	1300	2530	同	上	地上運轉準備中
艦本系工機	第一技術廠	特呂二號	薬液ロケット	ポンプ 14500	2500	巾 900 X 高 650	170	2500	甲 液 (過酸化水素) 及 乙 液 (水加ヒドラチン + メタノール) ノ 燃 焼ニヨル薬液ロケツ ト	秋	水	性能試験、耐久試験ヲ 完了シ飛行試験施行中 20年7月ヨリ量産ニ移行中
日立航空機	第一技術廠	ツ 1 1 型	エンジン ロケット	送風機 3000 送風機 9000	2200	640	200	200	1200	初風型發動機ニヨリ 送風機ヲ驅動スルエ ンジンロケット	桐花 二	性能試験、耐久試験ヲ 完了シ飛行試験モ概本 終了ス 20年6月ヨリ量産ニ移行中
	第二技術廠	㊦ (假稱)	間歇燃焼 ロケット		3700	580	180	300	1600	間歇燃焼式ロケツト		小規模試作機ニヨリ試験 ヲ完了シ實用ノ地上運 轉準備中

0503